

強権的な指定廃棄物最終処分場計画の撤回を求める宮城県の共同

2015年11月20日

東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター 中嶋廉

福島第一原発事故による放射能汚染物とどう向き合うか

- ・みやぎ県民センターの活動…測定と食品の検査、被害の全面賠償、健康調査を要求
- ・宮城県の中山間地の放射能汚染を測定した南部氏の貴重な調査報告…資料

指定廃棄物最終処分場建設計画は、住民の拒否と市民運動の連帯でゆきづまりに

- ・環境省が、茨城県で22市町村が分散保管することを容認…方針の破綻を意味
- ・千葉県では東電の敷地内（臨海部）に保管する方針が打ち出されたが
- ・栃木県・塩谷町が断固反対、衆議院選挙、県議選挙で「計画撤回」候補が当選
- ・群馬県は5市1村分散から一カ所集中へ
- ・宮城県では、環境省は現行計画の強行をめざしているが、疑問視する県民が拡大
- ・最終処分場とは呼ばず、「長期保管施設」に……破綻の自白 「河北新報」も揶揄
- ・8000Bq/kg以下の廃棄物を抱える市町村が混焼の方針を実行できない
- ・環境省の基本計画の見直しの検討に、市町村が提出した意見…資料

放射性物質汚染対処特措法に関わる国会論戦（2011年8月）

- ・『法的安定性』が欠如…議員提案だった 放射能のクリアランス基準の『二重基準』
- ・自治体の同意、住民合意を不要とする強権性…住民合意こそ原則である
- ・原発事故被害の全面賠償の立場には立たない…犠牲と負担を地方自治体と住民に
- ・附帯決議…3年後に見直しを…資料

特措法にもとづく基本方針（2011年11月11日閣議決定）

- ・「指定廃棄物の処理は排出された都道府県において行うものとする」が問題
- ・指定廃棄物とは
- ・可燃性廃棄物について、「可能な限り速やかに減容化を図る」
- ・最終処分場とは
- ・処分場建設による被害を補償しない…「東電を潰さないようにするのがミソ」
(2014年12月25日、日本技術士会東北支部のシンポで東利博・統括官)

最終処分場候補地の選定に係る経過の検証及び今後の方針（2013年2月25日）

- ・市町村長会議を通じて候補地を選考する手順に変更、初の事例が宮城県
- ・第5回市町村長会議（2014年1月20日）で3カ所を候補地に
- ・2014年8月4日の市町村長会議で村井知事が「詳細調査の受け入れ」を表明
市町村長会議で総意をまとめたとする村井知事の文書が大問題に

候補地を抱える市町の対応、住民運動と共同の探求

- ・栗原市の対応、住民の運動は3つの住民団体が軸に展開
- ・大和町の対応、「断固反対する会」の取り組み
- ・加美町の対応、「断固反対する会」から宮城県民連絡会の結成を主導

- ・宮城県の住民運動の共同
 - …2014年6月14日 栗原ネットワーク例会…加美町からのお願い
 - …県民センターの呼びかけで、候補地の調査を7月4日、7月20日に
 - …12人による連名アピールの発表（2014年7月18日）…資料
 - …市町村長会議（2014年7月25日）の会場周辺で集会とアピール行進
 - …宮城県庁前で村井知事の受け入れ表明に抗議する行動（2014年8月4日）
 - …日本共産党宮城県議団が指定廃棄物の把握がずさんと指摘、「計画の見直しを」

運動の転機となったシンポジウム開催（2015年1月25日）

- ・3候補地は、真っ先に除外すべき…地滑りのある水源地域 灌漑概要図…資料
- ・早期推進の口実＝「逼迫」論はウソ…農民が支持していない 調査レポート
- ・焼却して減容し、埋設処分する技術的な問題 井原聡氏が指摘
- ・候補地を選考した基準と経過の問題 大槻憲四郎氏が追及
- ・人格権を侵害する計画（水源地と生業を守ろう） 青木正芳弁護士が指摘
- ・風評被害、「ふるさと喪失」の被害は防止を 除本理史氏が発言

現行計画の撤回、特措法と基本方針の見直しを求める闘い

- ・放射能のある廃棄物の全体的調査を要求……環境省が再調査に
- ・詳細調査の強行は許さない
 - 公開討論の提案 5月29日の第2回説明会の前に公開質問を提出
 - 村井知事・安藤県議会議長にあてた要請署名に共同を
 - 候補地をかかえる住民の阻止行動に連帯
- ・宮城県議選で局面に大きな変化…加美郡で自民現職が大敗、共産党が8議席に
- ・加美町の提案を受け入れて、井上副大臣が参加し環境省が意見交換会に応じた

住民合意可能な対応を市町村から提案し、宮城県と政府に財政と制度の保障を求める

- ……当面の緊急要求での提案と合意形成を各地域で進めよう
 - 暫定的な保管施設、既存施設の改善、長期保管が可能な性状に
- ……放射能のある廃棄物の全体的な対応を要求する
 - 8000Bq/kg以下の廃棄物を抱えている市町村の問題解決を図る
- ……責任ある管理を要求する。放射能のあるものと向き合う原則に立ち帰る
 - 将来は無害になる、その時なら再利用や埋め立てが可能になる
- ……安易な減容（焼却など）や、安易な大量・遠距離移動は、合意が困難
 - 焼却するなら、信頼できる実証試験、モニタリングを要求する、
- ……最終処分場（埋め立て）は科学的な適地に（水源地・上流域は論外）
 - 既存の一般の最終処分場に処分していいのか
- ……被災地の『復興論』を堅持しよう……福島運動との連帯は生命線
 - 単純な「廃棄物は福島に集約を」論には慎重な態度をとっている

以上